

貨物地域流動調査の概要

1 調査対象貨物の範囲

(1) 鉄道

車扱貨物（混載を含む。）及びコンテナ貨物で日本貨物鉄道が輸送したものを対象とし、その他の鉄道事業者の輸送分を含まない。

(2) 海運

港湾調査規則による港湾の海上移入貨物を対象とするが、仕出港が海上である貨物、フェリー（自動車航送船）により輸送された自動車及びその積荷を含まない。

(3) 自動車

営業用及び自家用の貨物自動車（霊きゅう車及び自家用軽自動車を除く。）で輸送された全貨物（フェリーで輸送された自動車の積荷を含む。）を対象とした。

2 品目の区分

昭和 39 年 3 月運輸省大臣官房統計調査部基準による「輸送統計に用いる標準品目分類」に準じ、各輸送機関を通じてその内容をほぼ一致させることのできる 32 品目に分類した。

さらに 32 品目を 9 品目に集約した表を加えた。

表 1 は上記 32 品目分類と各輸送機関別品目分類の対応関係を示したものであり、表 2 は上記「輸送統計に用いる標準品目分類」を参考として掲げたものである。

3 地域の区分

都道府県（北海道については 7 地域（「表 3 地域の区分」参照）に細分した。この調査においては「府県」と呼ぶ。）を基準として推計した。

4 調査の方法

(1) 鉄道

日本貨物鉄道の平成 22 年度地域流動データ（車扱及びコンテナ）により集計を行った。

(2) 海運

「平成 22 年港湾統計（年報）」（国土交通省総合政策局）の「移入貨物品種別仕出港別表」を基準としたが、これは甲種港着貨物のみであるため、次の方法により求めたものでこれを補完した。

a 甲種港発甲種港以外の港着貨物

同年報の「移出貨物品種別仕向港別表」（甲種港発の表）のうち、甲種港着貨物を除いたものとした。

b 甲種港以外の港発乙種港着貨物

同年報の「乙種港品種別都道府県別表」の移入貨物から「移出貨物品種別仕向港別表」（甲種港発の表）の乙種港着貨物を除いたものとし、これらはすべて当該府県内で発着したものとみなして処理した。

なお、以上の結果により、港湾調査対象港（甲種及び乙種港）以外の港湾着の貨物については、甲種港発貨物以外は含まない。

(3) 自動車

平成 22 年度数値については「自動車輸送統計月報」（国土交通省総合政策局）（平成 22 年 10

月～平成 23 年 3 月) で下半期分の品目別輸送トン数を算出し、これを下半期の品目別府県相互間輸送トン数の流動パターンで配分して下半期の輸送量を求め、次に「自動車輸送統計年報」の年度数値(暫定値)から下半期の輸送量を差し引いて上半期分を求め、平成 22 年 6 月分(大調査)の品目別府県相互間輸送トン数の流動パターンで配分して上半期の輸送量を求め、これを合算して平成 22 年度の数値とした。

5 利用上の注意点

(1) 鉄道

コンテナについては、品目別に統計が作成されていないため、品目上は「その他」に含め、コンテナの輸送量の合計値のみを特掲した。

(2) 海運

本調査はフレート・トン表示となっているため、「内航船舶輸送統計」(国土交通省総合政策局)の輸送量とは合致していない。また、平成 22 年度は、調査対象港湾の見直しが行われ、甲種港湾数が 172 港から 160 港になっている。

なお、「港湾統計(年報)」は、年度ではなく、暦年の値となっているので注意を要する。

(3) 自動車

本調査で用いている自動車輸送統計調査は、標本調査であり、全国における総輸送量の精度を確保する設計となっている(以下の表を参照)。

| (平成22年9月までの調査方法) | | | | | | |
|---|--------|----------------------|--------|--------|--------|--------|
| 自動車輸送統計調査の対象、調査期間、調査対象数 | | | | | | |
| | 貨物自動車 | 旅客営業用 | | | 旅客自家用 | |
| | | バス | | 乗用 | バス | 乗用 |
| 調査対象 | 自動車 | 自動車(事業所) | 自動車 | 自動車 | 自動車 | 自動車 |
| 調査期間 | ※1 | 1ヶ月 | ※2 | ※2 | ※2 | ※2 |
| 調査対象数(詳細) | 約7,100 | 全数調査 | 約1,600 | 約1,200 | 約1,000 | 約4,200 |
| 調査対象数(簡易) | 約2,400 | | - | 約400 | 約300 | 約1,400 |
| ※1…6月、10月及び2月に7日間の詳細調査を実施し、3ヶ月以内に、再度、7日間の簡略調査を実施する。 | | | | | | |
| ※2…6月、10月及び2月に3日間の詳細調査を実施し、3ヶ月以内に、再度、3日間の簡略調査を実施する。 | | | | | | |
| 調査の対象となる自動車数 | | 約7,500万両(平成22年9月末時点) | | | | |

| (平成22年10月からの調査方法) | | | | | |
|--|----------|--------------------|----------|------|------|
| 自動車輸送統計調査の対象、調査期間、調査対象数 | | | | | |
| | 貨物営業用 | 貨物自家用 | 旅客営業用 | | |
| | | | バス | | 乗用 |
| 調査対象 | 自動車(事業所) | 自動車 | 自動車(事業所) | 自動車 | 自動車 |
| 調査期間 | 1ヶ月(7日間) | 7日間 | 1ヶ月 | 3日間 | 3日間 |
| 調査対象数 | 約2,000 | 約1,000 | 全数調査 | 約250 | 約550 |
| ※平成22年10月分調査以降は、毎月同内容の調査となっている。 | | | | | |
| ※貨物営業用の調査期間は、事業所で使用する全ての自動車の1ヶ月間及び一部の自動車の7日間である。 | | | | | |
| 調査の対象となる自動車数 | | 約750万両(平成23年3月末時点) | | | |

自動車輸送統計調査の平成 22 年 10 月分調査から調査方法が変更され、調査対象から自家用貨物自動車のうち軽自動車が除外されており、本調査では平成 22 年 4 月分以降、調査対象から除外している。

また、東日本大震災の影響により、北海道運輸局、東北運輸局及び茨城県の調査が一部不能となったため、平成 23 年 3 月分の北海道運輸局及び東北運輸局の数値を含んでいない。茨城県の数値については、関東運輸局内の他県の調査結果により補填している。

自動車輸送統計調査を用いて地域又は品目を細分化して求めた本調査の各発着輸送量の精度は、自動車輸送統計の標本設計よりも低い精度となると思われるが、輸送機関別

比較等の利用者ニーズに対応するため作成している。

本調査結果の利用にあたっては、可能な限り品目及び地域を統合したものを利用する等の取り扱いを行って頂きたい。

よって、本調査を使用した分析結果の公表などを行う際には、上記の趣旨に沿った注釈を付けるなど、配慮願いたい。

加えて、平成 16 年度まで特別積合せトラックに係る貨物の府県相互間輸送トン数について計上してきたが、「特別積合せトラック調査」が 16 年度をもって休止となったことに伴い、平成 17 年度以降は計上していない。したがって、平成 16 年度以前と平成 17 年度以降のデータ（本調査における品目分類「0-0 総貨物」、「9-0 その他」、「9-32 その他」）の比較にあたっては、この点について考慮する必要がある。

（注）航空貨物については、付録に総貨物の府県間輸送のみを別掲している。

表1 品目分類対応表

| 本調査における品目分類 | | 各輸送機関における品目分類 | | | 備考 | | |
|---------------------------------|---------------|--|--|--|--------------------------|----|------------------|
| | | 鉄道 | 海運 | 自動車 | 鉄道 | 海運 | 自動車 |
| 農 水 産 品 | 1-0 穀物 | 035 米、036 麦類、037 大豆 | 011 麦、021 米 022 とうもろこし、023 豆類 024 その他雑穀 | 11 穀物 | 大豆以外の「雑穀」は「その他の農産品」に含まれる | | 「雑穀」を含む。 |
| | 1-2 野菜・果物 | 038 生甘しょ、039 生馬鈴しょ 040 生野菜、043 りんご、044 みかん 045 夏みかん、046 その他の果物 | 031 野菜・果物 | 12 野菜・果物 | | | |
| | 1-3 その他の農産品 | 041 てん菜、042 つけ物類 047 葉たばこ、051 その他の農産品 108 綿花、109 動植物繊維(原料) 048 わら工品 | 041 綿花 051 その他農産品 | 19 その他の農産品 | 大豆以外の「雑穀」を含む。 | | |
| | 1-4 畜産品 | 052 馬、053 牛、054 豚 056 鮮冷凍肉、057 その他の畜産品 | 061 羊毛 071 その他畜産品 | 13 畜産品 | | | |
| | 1-5 水産品 | 058 鮮冷凍魚、059 塩干魚 060 その他の水産品 | 081 水産品 | 14 水産品 | | | |
| 林 産 品 | 2-6 木材 | 023 原木、024 不工製材 025 加工製材、026 バルブ用材 027 坑木、028 その他用材 029 その他の木材、030 チップ 034 その他の林産品、090 まくら木 092 電柱 | 091 原木 092 製材 111 木材チップ 112 その他林産品 | 21 木材 | | | |
| | 2-7 薪炭 | 031 薪、032 木炭 | 121 薪炭 | 22 薪炭 | | | |
| 鉱 産 品 | 3-8 石炭 | 001 石炭、002 無煙粉炭 133 事業用石炭(有貨) 136 事業用石炭(無貨) | 131 石炭 | 31 石炭 | | | |
| | 3-9 金属鉱 | 006 鉄鉱、007 非鉄金属鉱 008 硫化鉄 | 141 鉄鉱石 151 金属鉱 | 32 金属鉱 | | | |
| | 3-10 砂利・砂・石材 | 004 石と石材、005 砂利と砂 134 事業用砂利(有貨) 137 事業用砂利(無貨) | 161 砂利・砂 162 石材 | 33 非金属鉱物(建設用) | | | |
| | 3-11 石灰石 | 011 石灰石 | 191 石灰石 | △ | | | 「その他の非金属鉱」に含まれる。 |
| | 3-12 その他の非金属鉱 | 009 りん鉱石 010 けい石及びけい砂 012 ドロマイト、013 粘土、014 白土 015 その他の鉱石 022 その他の鉱産品、123 鉱油原油 | 171 原油 181 りん鉱石 201 原塩 211 非金属鉱物 | 34 非金属鉱(工業用) | | | 「石灰石」を含む。 |
| 金 属 機 械 工 業 品 | 4-13 鉄鋼 | 016 銑鉄、017 鋼塊 018 普通鋼鋼材、019 その他の鋼材 091 レールと鉄管 | 221 鉄鋼 222 鋼材 | 411 鉄鋼 | | | |
| | 4-14 非鉄金属 | 020 非鉄金属 | 231 非鉄金属 | 412 非鉄金属 | | | |
| | 4-15 金属製品 | 093 かん類 094 その他の機器工業品 | 241 金属製品 | 42 金属製品 | | | |
| | 4-16 機械 | 084 産業機械、085 その他の機器類 088 その他の車両、089 車両部分品 118 家庭電器 | 251 鉄道車両 252 完成自動車 253 その他輸送用車両 254 二輪自動車 255 自動車部品 256 その他輸送機械 | 43 機械 | | | |
| 5-0 化 学 工 業 品 | 5-17 セメント | 080 セメント | 281 セメント | 511 セメント | | | |
| | 5-18 その他の窯業品 | 073 陶磁器類、074 かわら・れんが 075 板ガラス、076 ガラスびん 077 その他のガラス類、078 消石灰 079 その他の石灰 081 コンクリート製品 082 その他の窯業製品、126 生石灰 | 271 陶磁器 291 ガラス類 301 窯業品 | 512 セメント製品 513 れんが 514 石灰 519 その他の窯業品 | | | |
| | 5-19 石油製品 | 071 鉱油、122 プロパンガス 124 揮発油 | 311 重油、321 石油製品 322 LNG(液化天然ガス) 323 LPG(液化石油ガス) 324 その他石油製品 | 52 石油製品 | | | |
| | 5-20 石炭製品 | 003 コークス・コークライト | 331 コークス 341 石炭製品 | 53 石炭製品 | | | |

| 本調査における品目分類 | | 各輸送機関における品目分類 | | | 備 考 | | |
|------------------------------|--------------------|--|---|---|-------------------|-----|-------|
| | | 鉄 道 | 海 運 | 自 動 車 | 鉄 道 | 海 運 | 自 動 車 |
| 5-0 化 学 工 業 品 | 5-21 化学薬品 | 067 ソーダ、069 工業薬品 127 硫酸、128 化学薬品 129 その他の危険品 | 351 化学薬品 | 54 化学薬品 | | | |
| | 5-22 化学肥料 | 061 硫酸、062 石灰窒素 063 過りん酸石灰 064 その他の無機質肥料 125 肥料硝安 | 361 化学肥料 | 55 化学肥料 | | | |
| | 5-23 その他の化学工業品 | 068 農薬、070 工業製剤、072 油脂 083 その他の化学工業品 121 火薬類 | 371 染料・塗料・合成樹脂・その他化学工業品 | 59 その他の化学工業品 | | | |
| 6-0 軽 工 業 品 | 6-24 紙・パルプ | 113 パルプ、114 新聞巻取紙 115 その他の紙 116 加工紙と紙製品 | 381 紙・パルプ | 61 紙・パルプ | | | |
| | 6-25 繊維工業品 | 110 化学繊維、111 綿糸綿織物 112 化学繊維糸と織物 117 その他の繊維工業品 | 391 糸及び紡績半製品 401 その他繊維工業品 | 62 繊維工業品 | | | |
| | 6-26 食料工業品 | 055 乳と乳製品、066 塩 095 小麦粉、096 穀粉・澱粉類 097 砂糖、098 清涼飲料水類 099 たばこ、100 清酒、101 合成酒 102 ビール、103 その他の酒 104 みそ、105 しょう油 106 かん詰・びん詰食品 107 その他の食料工業品 | 411 砂糖、421 製造食品 422 飲料、423 水 424 たばこ 425 その他食料工業品 | 63 食料工業品 | | | |
| 7-0 雑 工 業 品 | 7-27 日用品 | △ | 431 がん具、441 衣服・身廻品・はきもの 442 文房具・運動娯楽用品・楽器 443 家具装備品 444 その他日用品 | 71 日用品 | 「その他の製造工業品」に含まれる。 | | |
| | 7-28 その他の製造工業品 | 033 木製品と竹製品、086 農機具 120 その他の雑工業品 | 451 ゴム製品 461 木製品 471 その他製造工業品 | 79 その他の製造工業品 | 「日用品」を含む。 | | |
| 8-0 特 種 品 | 8-29 金属くず | 021 金属くず | 481 金属くず | 811 金属くず | | | |
| | 8-30 動植物性飼肥料 | 049 飼料、050 配合飼料 065 有機質飼料 | 501 動植物性製造飼肥料 | 82 動植物性飼肥料 | | | |
| | 8-31 その他の特種品 | 119 荷造用品、130 特殊品・その他 | 491 再利用資材 511 廃棄物、512 廃土砂 521 輸送用容器 531 取合せ品 | 819 その他のくずもの 83 廃棄物 84 輸送用容器 85 取合せ品 | | | |
| 9-0 そ の 他 | 9-32 その他 | 087・139 甲種鉄道車両 131 混載荷物 135 事業用その他貨物(有賃) 138 事業用その他貨物(無賃) 140 その他、コンテナ | 541 分類不能のもの | 9 分類不能のもの | | | |
| 10-0 特 掲 品 目 | 10-31 廃棄物(特掲) | | 511 廃棄物、512 廃土砂 | 83 廃棄物 | | | |
| | 10-32-1 甲種鉄道車両(特掲) | 87・139 甲種鉄道車両 | | | | | |
| | 10-32-2 コンテナ(特掲) | コンテナ | | | | | |

- (注) 1 「10-31廃棄物」は「8-31その他の特種品」から、「10-32-1甲種鉄道車両」及び「10-32-2コンテナ」は「9-32その他」からそれぞれ抽出して特掲した品目である。
- 2 △は区分が部分的に一致しないため、作表できない品目である。
- 3 鉄道、海運及び自動車の品目に付してある番号は、それぞれ、JR主要品目分類、港湾調査品目分類表及び輸送統計に用いる品目分類(表2参照)における品目番号である。

表2 輸送統計に用いる標準品目分類

(昭和39年3月運輸大臣官房統計調査部基準)

| 大分 | 中分類 | 小分類 | 細分類 |
|--------------------------------------|------------------------|--|--|
| 1 農 ・ 水 産 品 | 11 穀 物 | 111 米 112 麦 113 雑穀、豆 | 1131 とうもろこし、1132 大豆、1139 その他の雑穀・豆 |
| | 12 野 菜 ・ 果 物 | 121 いも類 122 野菜類 123 果物類 | 1211 甘しょ、1212 馬鈴しょ 1231 みかん、1232 りんご、1239 その他の果物 |
| | 13 畜 産 品 | 131 鳥獣類(主として食用のもの) 132 鳥獣肉、未加工乳、鳥卵 133 動物性繊維、原皮、原毛皮 139 他に分類されない畜産品 | 1311 馬、1312 牛、1313 豚、1319 その他の鳥獣類 1321 牛肉、豚肉、鶏肉、1322 牛乳(未加工滅菌前のもの)、1329 その他の鳥獣肉、未加工乳、鳥卵 1331 動物性粗繊維、1332 原皮、1333 原毛皮 |
| | 14 水 産 品 | 141 魚介類(生鮮、冷凍のもの) 142 魚介類(塩蔵、乾燥のもの) 149 その他の水産品 | |
| | 19 そ の 他 の 農 産 品 | 191 工芸作物 192 農産加工品 199 他に分類されない農産品 | 1911 繊維用作物、1912 砂糖原料作物、1913 油脂用作物、1914 嗜好料作物 1919 その他の工芸作物 1921 わら工品、1929 その他の農産加工品 |
| 2 林 産 品 | 21 木 材 | 211 原木 212 製材 219 その他の林産品 | 2111 製材用原木、2112 パルプ用原木、2113 坑木 2119 その他の原木 |
| | 22 薪 炭 | 211 薪 222 木炭 | |
| 3 鉱 産 品 | 31 石 炭 | 311 石炭 312 亜炭 | |
| | 32 金 属 鉱 物 | 321 鉄鉱 322 その他の鉄属鉱 323 非鉄鉱 | |
| | 33 非 金 属 鉱 物 (建 設 用) | 331 砂利 332 砂 333 石材 | 3331 基礎石材、3332 加工石材、3333 砥石、石製品 |
| | 34 非 金 属 鉱 物 (工 業 用) | 341 石灰石 342 りん鉱石 343 原塩 344 原油 349 その他の非金属鉱物 | 3491 工業用材、3492 耐火・保温用材、3493 陶磁器用材、3494 肥料用材、3495 研磨材、工業用材、3499 他に分類されない非金属鉱物 |
| 4 金 属 機 械 工 業 品 | 41 金 属 | 411 鉄鋼 412 非鉄金属 | 4111 鉄、4112 鋼(粗鋼)、4113 鋼材 4121 地金、合金、4122 伸銅品、4123 電線、ケーブル |
| | 42 金 属 製 品 | 421 建設用金属製品 422 建築用金属製品 423 線材製品 424 刃物、工具 429 その他の金属製品 | 4241 刃物、4242 道具、4243 切削工具、4244 作業工具、4245 機械用刃工具 |
| | 43 機 械 | 431 産業機械 432 電気機械 433 輸送機械 439 その他の機械 | 4311 ボイラー、機関及びタービン、4312 金属加工機械、4313 運搬昇降及び貨物取扱装置、4314 化学機械、4315 冷凍機、空気調節装置、4316 繊維機械及びミシン、4317 鉱山・土木建設及び農業機械、4318 その他の産業用機械 4319 機械部分品 4321 回転電気機械、4322 配電及び制御装置、4323 照明器具、4324 民生用電気機器、4325 通信及び関連装置、4326 電子応用装置、4327 電子管、半導体素子、4329 その他の電気機械 4331 鉄道車両、4332 自動車、4333 自転車及びその他の車両、4334 船舶、4335 航空機 4391 計量・測定及び測量機械、4392 時計、4393 光学機械、4394 医療用機械器具及び装置、4395 事務用機械、4396 商業及びサービス業用装置、4397 保安及び衛生装置・警報及び信号装置、4398 料理用・暖房用装置、4399 他に分類されない機械 |

| | | | |
|---|----------------------------|--|---|
| 5 工 業 品 学 | 51 窯 業 品 | 511 セメント 512 セメント製品 513 れんが 514 石灰 | 5121 コンクリート製品、5122 セメントモルタル製品、5129 その他のセメント製品 |
| | 52 石 油 製 品 | 519 その他の窯業品 521 揮発油 522 重油 523 その他の石油 529 その他の石油製品 | 5191 板ガラス、5192 ガラス製品、5193 陶磁器、5194 石綿セメント製品、5195 炭素製品、5196 研磨材、5197 耐火製品、5199 他に分類されない窯業品 航空揮発油、自動車ガソリン、工業用ガソリン、ベンジン A重油、B重油、C重油 燃料油（灯油、軽油、ジェット燃料油）、潤滑油（スピンドル油、マシン油、モーター油他） パラフィン、石油アスファルト、石油ピッチ、石油ガス製品、液化プロパン 液化ブタン |
| 5 化 学 工 業 品 （ 窯 業 品 、 石 油 及 び 石 炭 製 品 を 含 む ） | 53 石 炭 製 品 | 531 コークス 539 その他の石炭製品 | 石炭コークス、コーライト、亜炭コーライト 練炭、豆炭、ピッチコークス、ピッチ豆炭 |
| | 54 化 学 薬 品 | 541 硫酸 542 ソーダ 549 その他の化学薬品 | 5421 苛性ソーダ、5422 ソーダ灰 5491 基礎無機酸（硫酸を除く）、5492 アンモニア、5493 カーバイド、5494 塩素、5495 無機工業薬品、5496 タール製品、5497 有機工業薬品、5498 圧縮ガス、5499 他に分類されない化学薬品 |
| | 55 化 学 肥 料 | 551 窒素質肥料 552 リン酸質肥料 553 加里質肥料 559 その他の化学肥料 | |
| | 59 そ の 他 の 化 学 工 業 品 | 591 染料、顔料、塗料 592 合成樹脂 593 動植物性油脂 599 他に分類されない化学工業品 | 5911 合成染料、5912 塗料、5913 顔料 5921 合成樹脂、5922 合成ゴム 5931 動物性油脂、5932 植物性油脂、5933 加工油脂 5991 化粧品、5992 医薬品、5993 石けん、洗剤、5994 写真感光材料 5995 火薬類、5996 農薬、殺虫剤、5999 その他の化学工業品 |
| | 61 紙 ・ パ ル プ | 611 パルプ 612 紙 | 6111 溶解パルプ、6112 製紙パルプ 6121 洋紙、6122 板紙、6123 和紙、6129 その他の紙 |
| 6 軽 工 業 品 | 62 織 維 工 業 品 | 621 糸（紡織半製品を含む） 622 織物（繊維二次製品を含む） | 6211 紡織半製品、6212 化学繊維糸、6213 綿糸、6219 その他の糸 6221 化学繊維織物、6222 綿織物、6223 その他の織物、6224 繊維二次製品 |
| | 63 食 料 工 業 品 | 631 製造食品 632 飲料 639 その他の食料工業品 | 6311 動物性製造食品、6312 植物性製造食品 6391 たばこ、6392 氷、6399 他に分類されない食料工業品 |
| | 71 日 用 品 | 711 書籍印刷物 712 衣服、身廻品、はきもの 713 文具、玩具、運動娯楽用品、楽器 714 家具、装備品 715 衛生暖房用具 716 台所及び食卓用品 719 他に分類されない日用品 | 7121 衣服、7122 家庭用品、7123 身廻品、7124 身辺細貨、7125 はきもの 7131 文房具、7132 玩具、7133 運動娯楽用品、7134 楽器 7161 台所用品、7162 食卓用品 |
| 7 雑 工 業 品 | 79 そ の 他 の 製 造 工 業 品 | 791 ゴム、皮革製品（他に分類されないもの） 792 木製品（他に分類されないもの） 799 他に分類されない製造工業品 | 7911 ゴム製品基礎資材、7912 ゴムタイヤ、チューブ、7913 工業用ゴム製品、7914 その他のゴム製品、7915 かわ製品 7921 単板・合板、7922 特殊加工木材、7929 その他の木製品 7991 紙製品、7992 農機具、7993 草類製品、7999 他に分類されない製造工業品 |
| | 81 く ず も の | 811 金属くず 819 その他のくずもの | 8111 鉄くず、8112 非鉄金属くず 8191 くず紙、8199 その他のくずもの |
| | 82 動 植 物 性 飼 肥 料 | 821 動植物性飼肥料 | 8211 動物性飼肥料、8212 植物性飼肥料、8213 植物性飼料、8219 その他の製造飼肥料 |
| 8 特 種 品 | 83 廃 棄 物 | 831 廃土砂 839 その他の廃棄物 | 8391 塵芥、糞尿、8399 他に分類されない廃棄物 |
| | 84 輸 送 用 容 器 | 841 金属製輸送用容器 849 その他の輸送用容器 | 8491 ガラス製容器、8492 紙製容器、8493 繊維製容器、8494 木、竹製容器 8499 その他の容器 |
| | 85 取 り 合 せ 品 | 851 引越荷物 852 郵便物鉄道便荷物貨物 853 自動車便路線貨物 854 内航船舶小口混載貨物 | |
| | 9 の 分 類 不 能 | | |

表3 地域の区分

| 北海道の7地域区分 | |
|-----------|------------------------|
| 名称 | 範囲（総合振興局等） |
| 札幌 | 石狩、空知（深川市及び雨竜郡を除く。）、後志 |
| 旭川 | 上川、宗谷、留萌、空知（深川市及び雨竜郡） |
| 函館 | 檜山、渡島 |
| 室蘭 | 胆振、日高 |
| 釧路 | 釧路、根室 |
| 帯広 | 十勝 |
| 北見 | オホーツク |